

令和7年度第1回能勢町障害者計画等推進委員会 議事録

日 時	令和7年11月18日(火) 14時00分～15時30分
場 所	能勢町保健福祉センター 多目的室
出席者	<p>(委員長)</p> <p>大阪公立大学 教授 野村恭代</p> <p>(副委員長)</p> <p>能勢町民生委員児童委員協議会 副会長 松村茂樹</p> <p>(委員)</p> <p>能勢町手をつなぐ親の会 会長 塩田恒美</p> <p>能勢町身体障がい児(者)父母の会 会長 森内由美子</p> <p>てしま会能勢分会 会長 城阪敏明</p> <p>(福)産経新聞厚生文化事業団 福祉相談くすのき 管理者 高橋基樹</p> <p>(福)てしま福祉会 精神障がい者地域活動支援センター咲笑 相談支援専門員 深田陽子</p> <p>(福)北摂福祉会 ともがき 施設長 高田聡文</p> <p>(福)四幸舎和会 くりのみ園 施設長 大崎年史</p> <p>(福)能勢町社会福祉協議会 事務局長 松下和之</p> <p>公募委員 荒木裕子</p>
事務局	<p>能勢町福祉部長 寺内</p> <p>福祉部福祉課長 大植</p> <p>福祉部福祉課 係長 小豆島</p> <p>主事 南、黒田</p>
欠席者	6名
傍聴者	1名

【次第】

1. 開会

- ・あいさつ
- ・出席者紹介

2. 議題

- (1) 能勢町における障がい（児）者の施策の状況について
- (2) 能勢町障がい（児）福祉計画の実績報告について
- (3) 次期能勢町障がい者計画等策定のスケジュール
- (4) その他

【配布資料】

- 資料 1 能勢町障害者計画等推進委員会委員名簿
- 資料 2 能勢町障害者計画等推進委員会設置要綱
- 資料 3 能勢町における障がい（児）者の施策の状況について
- 資料 4 能勢町障がい（児）福祉計画の進捗状況
- 資料 5 次期能勢町障がい者計画等策定のスケジュール

【議事要旨】

開会	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ ・出席者紹介
議題（１）	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料３を用いて説明
質疑	<ul style="list-style-type: none"> ・議題（１）に対する質疑
委員	<p>資料３にいきいき 100 歳体操の記述がありますが、能勢町の各地域 40 数か所で行われているという情報が公開されていたかと思えます。</p> <p>始まった当初より参加人数が減っていると感じていますが、現状を教えてくださいたいです。</p>
事務局	<p>資料３の高齢介護施策で、各地区がメインとなって、いきいき 100 歳体操を通して介護予防の取組をしていただいております。</p> <p>参加者数については、当初から比べて若干減ってきているところではございますが、担当部局も参加者をより裾野を広げていこうというところで、様々な取組をさせていただいているところではございます。いかに今の参加者に継続して参加していただき、また新たな方も参加していただくということが一つの課題になっているのは事実でございます。</p>
委員	<p>参加者が増えている実感はないです。</p> <p>立ち上げから 10 年経過しマンネリ化が感じられます。体操に参加したいと思えるような面白さや楽しさを引き上げられたらと、ボランティアの方々が頑張っておられます。</p> <p>仕事を退職した方が増えていますが、活発に活動されている声を聞くことが少ないです。身近な生活の中で、楽しく参加できる子ども食堂や 100 歳体操をどのように知っていただくことができるのかなど。</p> <p>また、参加者は女性が多く男性が少ないという問題点があると感じています。</p>
委員長	<p>地域課題の解決力強化のための協議の場づくりの体制整備の枠組みの中でも、地域の中で展開をされているいきいき 100 歳体操や子ども食堂というような場をどのように生かして機能を持たせるのかということについて、今のご意見と合わせて再検討をしながら発展をさせていくという観点は重要だと思いました。</p> <p>また、このような計画を多くの皆様に伝えるときには、いかに具体的にイメージしていただけるようにお示しするのかということも、一つ大切な観点だなというように思いました。</p>

委員	<p>地域生活支援拠点についての課題で高齢化や親への不安の解消が挙げられていますが、かなり重度化して一人で見るとは大変なので、施設に入所している人がそこから出ないといけないのかという不安があります。</p> <p>保護者の高齢化が進む中で、地域にある施設から仕事に通いながら、時には自由に家に帰るといったようなものではないのか、そういう気持ちがあります。</p>
委員長	事務局の方で町としてのお考えなどいかがでしょうか。
事務局	<p>ご指摘の点については無理に施設外での生活を進めていくというのではなく、地域で生活できる体制を作っていくものと位置付けているものです。</p> <p>準備が整っていない状態で施設から出ていかないといけないという趣旨ではなく、地域で安心して生活していけるような体制づくりというものを目指していくというようなものでございます。</p> <p>例えば、親亡き後にグループホームに入居して、他のサービスを使いながら地域での生活というものも可能性としては考えられるものかと思えますし、緊急時にはそれに対応できる施設が受入れをしていくというようなイメージでございます。</p> <p>地域生活支援拠点として担う機能は、緊急時の受入対応や専門的人材の確保養成ということも踏まえながら、可能な限り地域で生活ができる体制を作っていくというような考え方でありまして、無理な自宅での生活を目的としたものではないということをご理解いただけたらと思います。</p>
委員長	<p>地域移行をすることでご家族に何らかの負担をお願いするとか、ご家族が地域生活を支えなければいけないということでは決してないわけですね。</p> <p>大阪市城東区で重度の障がいがある方もお一人で暮らすということを実践する体制を整えており、親御さんは無関係ということではなくて、ご家族としての当たり前の関係性ということを持っていただきながら、生活を支えるのは地域だといった考え方なんです。</p> <p>能勢町の地域移行推進というのは、地域全体で障がいのある方の生活を支えることができる地域を作ることが、地域移行の推進の中身だと思いますので、それをご理解いただきながら、このような地域づくりというところにもお力添えをいただきたいということかなと思っています。</p> <p>実際は本当に時間がかかりますし、課題も見えてきています。モデル的に大阪市内で重度障がいのある方の地域生活をサポートする体制を整えており、実際にご本人がどう感じておられるかということや、本当にご本人がそれを望んでいるのかということ、支援者に言いたいことが言えてないのではないか。これは自己決定にも関</p>

	<p>わってくるんですが、その際の意味確認を専門職はどうしているのか、そういったことについてヒアリングを行い、その結果は能勢町における地域移行の推進にも役に立つような内容が含まれていると思いますので、今後、何らかの形でお伝えをしたいとは思っています。</p>
委員	<p>多くの方が地域で生活できて楽しいんだと言っています。しんどいこととか不安なことはあるけれども、地域の中で生活できることについては、このまま続けたいと。これから高齢化する中で、高齢福祉と連携しながら生活を社会全体でサポートしていくことは、大阪市だけでなく全国各地で地域移行を推進する上では、おそらく共通の重要な課題で検討しなければいけないと思います。</p>
委員長	<p>貴重なご意見ありがとうございました。</p> <p>それでは他に何かご意見ですとかお願いいたします。</p>
委員	<p>先に確認ですが、この会は8年度からの能勢町の障がい者計画と障がい福祉計画を作成するための会議ですか。</p>
事務局	<p>次期計画は9年度からです。現行計画は8年度までです。後程スケジュールをご説明させていただきますが、今年度の第2回目の会議から次期計画の検討を進めていただく予定としております。</p>
委員	<p>障がい者支援の人材の確保が難しく、職員の育成まで至らないです。自立支援協議会の中で人材がきちり確保されてないと動いていけないことが問題として挙がっており、大阪府の障がい者計画が出てきたときに人材育成と確保のところで、外国人採用について障がい者基本計画に明記してくださいと言っています。能勢町内にはいろいろな企業があるので結構外国人の方がいます。福祉の方でも、私の施設にも外国人労働者がいます。外国人が能勢町に住むことからくる問題と、地域移行に向けて施設を建設しようとして、そこで反対運動が起こってるような現状があるという障がい者理解の現状を皆さんに共有しておきたいなと思ってます。</p> <p>医療との連携ですが、かかりつけ医の訪問診療は機能していると思いますが、障がいのある人の入院が必要になったときに、入院先がないといった問題を、医療との連携の中でどこに連れていくか等、これから考えていけないといけないうように思いました。</p> <p>緊急体制の整備も、人がいないというところは非常に切実な状況になっていると思います。</p>
委員長	<p>地域の中でこのような状態が起こっているという実態と、外国にルーツのある方が地域で生活することによって生じるコンフリクトも十分想定をされるので、そ</p>

	<p>の辺りをどのように対応していくのかということを反映させるということも重要な観点ではないかということですね。</p> <p>また、これは緊急対応体制にも関わってくるかもしれません。入院について具体的に示しているものが図の中にはなく、通院ということ想定したものになっていますが、そういった入院時の観点も必要なのではないかという大変貴重なご指摘をいただいたと思います。</p>
委員	<p>私の所属する会には精神障がい者の関係の方が多くですが、入院されている本人が家に帰りたくても病院が退院させないという問題について大阪府の団体から報告があり、また、薬漬けの問題もあり、本人は帰りたけど縛っているという問題もあるということを知っておいてほしいと思います。</p> <p>また、先ほど高齢者のいきいき 100 歳体操の取組がすばらしいということで、NHK等でPRされていますが、参加人数などを把握されていますか。</p>
事務局	<p>いきいき 100 歳体操の件については、福祉課の担当ではなく健康づくり課が担当になりますので、詳しい情報は持ち合わせておりませんが、記憶している範囲で申し上げますと、今年で 10 年目を迎えますが参加人数は減少傾向にあります。</p> <p>いきいき 100 歳体操はそれぞれ各地区が主体的にされている活動で、行政はそこを支援していくという体制で関わっています。参加人数や男女比等、それぞれ課題については協議をしております、それらの改善策について毎年開催している交流大会で各地域での成功例を各地域に共有し、行政も交流大会に参加して今後の展開について一緒に考えていくということで取り組んでいます。</p> <p>参加人数が急激に増加することは難しいですが、少しでも参加人数が増えるような取組をしていきたいと思っていますので、ご理解をいただきたいと思います。</p>
委員長	<p>イベント等の参加人数を増やす方法の一例として、結果や効果を分かりやすく伝えるということが効果的であることが示されています。</p> <p>例えば、いきいき 100 歳体操に参加した場合と参加しない場合の 5 年間の変化を具体的に分かりやすくお伝えするというのも一つの方法だと思いますので、こちらでの議論は難しいですが、そのような意見をお伝えしながら協議いただけたらと思います。いきいき 100 歳体操等の場を相談の場に使うと示されていますので、そういった連携もしていただきながら、具体的にこの場をどのように充実させるかということが障がい福祉の充実にも関係してくると思います。</p>
副委員長	<p>いきいき 100 歳体操の件ですが、始まりは民生委員さんが中心になって始められ</p>

	<p>たと思います。民生委員が何回も変わるごとに、「民生委員の仕事やね」ということで、義務のように感じている民生委員の方が結構います。</p> <p>また、一生懸命やった結果、民生委員さんの大きな負担となり、他の仕事もあるのといった負担感を持ちながら活動されている方が結構いるのではないかと。</p> <p>ですから、100歳体操の活動と民生委員との活動の関わりが地域福祉に貢献できているのか、説明や話し合いとかの機会を設ける必要があるのではないかなと思います。(また、障がい者計画等の)計画があることは知っていますが、それらの詳しい内容について行政の方からレクチャーを受けたとか、実際の現場に行ったとかってというのはほとんどないかなと思いますので、計画の内容の周知について充実していくことが重要かなと思います。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>また最後に全体を通しまして、ご意見いただくお時間をお取りしますので、そのときにご質問をお願いできればと思います。</p>
議題(2)	
事務局	事務局より資料4-1、4-2を用いて説明
質疑	議題(2)に関する質疑
委員	実績値について、例えばグループホームに移れなかった待機者とか、入所施設に入れなかった人とかの待機者というのは把握していますか。
事務局	現在11名の方が待機者となっております。待機者ですが、施設入所という形でしか把握してないので、グループホームのみの人数は分かりません。
委員	利用しようと思っても利用できない人が何人であるか、それぞれの事業で把握していないと次期計画が良い計画にならないような気がして質問しました。
事務局	ご指摘いただきました意見は、把握するように努めたいと思います。加えまして、具体的にどのようなサービスを希望されてるのかというところの把握に努めていければと思います。
委員	この数字というのは、その年に新規に入られた方の数字じゃなくてずっと継続の方の合計ですか。
事務局	<p>新規のみではなくて、継続も全て含めた現時点での利用者数です。</p> <p>こちらは月数当たり若しくは日数当たりの平均値を記載しておりますので、例えば15人というのは総利用者数を月数で平均すると15人になるということになっております。なので、通年してずっと15名というわけではなくて、17人の月もあれば、14人や13人であったりする可能性があります。</p>

委員長	他にご意見などいかがでしょうか。
委員	日中一時支援事業は令和7年度の利用人数が741人から341人に減っています。これは利用できなくなってるってということですか。
事務局	こちらは年単位のデータで、令和7年度は9月までの人数しか把握できていないので、半年分のデータということになっております。なので、実績値は半分になってるんですが、まだ実績自体も半分しかないと認識していただければいいかと思いません。
委員	居宅生活動作補助用具は、最近利用できるようになったのですか。2年前に介護保険でスロープを付けたことはあります。
事務局	こちらにつきましては以前からある制度です。これらの制度につきましては障がいサービスの手引きに載せて周知の方をさせていただいています。 ただ先ほどおっしゃいましたような介護保険の住宅改修と障がい福祉の住宅改修については、併用はできません。 また、この制度はご自宅を想定しているものですので、グループホーム等では対象外になります。
委員	実績報告はそれぞれの施設から報告があるとか、そういうことでしょうか。
事務局	実績報告値の根拠について、居宅介護や重度訪問介護、同行援護等々、障がい福祉サービスにつきましては、事業所から国民健康保険団体連合会への請求実績です。また、日中一時支援事業や移動支援事業等、地域生活支援事業という枠組みにあるものについては、各事業所の方から能勢町に請求いただいた実績に基づいています。
委員	計画の策定に当たってはそれぞれの事業者さんにヒアリングをして、今後の見通しを調査した上で作っていくという形なんですかね。
事務局	後ほどまたスケジュールでお話をさせていただきますが、計画の策定に当たりましては事業者の方や団体の皆様にヒアリングを行っていくことになろうかと考えております。そういった中で先ほど人材不足の話等もございました各施設におかれましての現状というところも踏まえた上で、計画策定ということになってこようかと思えます。
委員長	地域包括ケアシステムの構築というところで、令和3年度から計画値では2回を計画されていて、今年度に至るまで0回という実績が続いています。 対象となる協議がそもそもなかったのか、又は協議の必要性はあるけれども開催がされていないのかなど、何か背景などお分かりのことありましたら教えていただければと思います。

事務局	<p>こちらにつきましてですが、今後の取組課題と考えております。</p> <p>精神障がいのある方も地域で安心して暮らしていけるような体制構築というところについて協議の場を持つという目標を定めておりまして、今後その自立支援協議会等をこの協議の場と位置付けをいたしまして開催していくというところで検討を進めているところでございます。</p> <p>対象がなかったというのではなく、5年度6年度にかけて大阪府から担当の方に自立支援協議会の方に参加していただき、その協議の場についてのご説明等を既にさせていただいているところでございます。</p> <p>今後、この内容等も踏まえて、自立支援協議会の中でどのような形で協議をしていくことができるのか等、詳細な内容を協議し、実施していくことができればと考えております。</p>
委員長	ありがとうございます。
委員	他の自治体の自立支援協議会などでは月一回検討の場を置いているんですが、そういう具体的な機能を教えていただければと思います。
事務局	<p>お話いただきました協議の場の機能として、本町の自立支援協議会におきまして、部会が二つございます。</p> <p>そのうちの一つが精神障がいの部会というものがございまして、こちらはケースがあれば随時開催というような位置付けとさせていただいております。本来であれば保健医療福祉関係者における協議の場というところは、その部会の場で検討することになっているのが一番望ましいですが、この協議の場のあり方について自立支援協議会で検討し、皆さんと一緒に考えていただきながら進めていくことができればと思っております。</p> <p>昨年度大阪府の方から自立支援協議会において説明をいただいたというところでございますので、その部会を精神障がいにも対応した協議の場というところでの位置付けの検討を今後進めてまいりたいと考えております。</p>
委員長	<p>ご回答ありがとうございました。</p> <p>それでは他に皆様何かいかがでしょうか。</p> <p>もし他に現時点でご意見ご質問ないようでしたら、議題を先に進めたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
議題(3)	
事務局	資料5を用いて説明
質疑	議題(3)に関する質疑

委員	スケジュールに記載のアンケートは毎年行っているアンケートでしょうか。
事務局	このアンケートは、令和5年度に実施しております。ですので、3年ぶりです。
委員	この上位計画とも言える地域福祉計画のスケジュールとの関係はどのような感じでしょうか。
事務局	地域福祉計画は、障がい者計画等より一年早く策定を進めているところで、7年度末の策定を予定しています。 今後、その計画も踏まえながら障がい者計画等の策定を行っていくというものでございます。
委員長	ではよろしいでしょうか。 スケジュールにつきまして特にご意見等がないようでしたら、議題4に進みたいと思います。
議題(4)	
事務局	(令和7年度第2回委員会の日程について、令和8年2月18日(水)午前10時開催を提案。)
委員長	皆さん問題ないようでしたら、2月18日水曜日の午前10時から開催できればと思います。
	(異議なし)
委員長	それでは最後になりますが、本日の議題1から4までございました。 各委員の皆様からのご意見ですとか確認をしたいこと等ありましたら、最後にお願ひできればと思います。アナウンス事項などございませんか。
一同	(特になし)
委員長	それでは以上で本日の全ての案件が終了いたしました。 進行を事務局にお返しいたします。
事務局	本日の議題につきまして、慎重なご審議いただきまして誠にありがとうございました。 それでは閉会に当たりまして、副委員長より閉会のご挨拶をいただければと思いますよろしくお願ひいたします。
副委員長	閉会の挨拶